

ハラスメント相談センター便り 第6号

秋が深まってきましたね。

皆さんいかがお過ごしでしょうか？

今回のハラスメント相談センター便りはジェンダーバイアスと女性の研究者の苦悩について紹介します。

事例 職員 A さんは周りの部下にいつもこのようなことを言っていました。

「女の子なんだからお茶汲んで！」、「女の幸せは結婚だよね！」

「お前、男なんだから、そのぐらいがんばれよ！」

上記のような「女の幸せは結婚」「男は当然〇〇すべき」といった性別に関する社会的・文化的な固定観念、差別意識をジェンダーバイアスと言います。セクシュアルハラスメントの起こる背景にはこのジェンダーバイアスが影響しているとも言われます。一度考えてみてください。

<ご存知でしたか？ジェンダーバイアスの例>

- ①「女の幸せは結婚」「男なら当然〇〇すべき」
- ②指導や期待が男女で異なる
 - 大学は非常に男性優位な職場？
 - 女性の能力が足りない？女性のやる気が足りない？
- ③性差別、結婚差別的発言
 - 「有徴性」のある表現（医師と女医、学生と女子学生・・・）
 - 反対の性に対する表現のない語を用いる（婦人）
 - 能力の低い者の代表として女性を用いる（女性でもできる）

<女性の研究者の苦悩>

ジェンダーバイアスに関連して、女性が研究職で働きにくいと感じてしまうことがあります。研究者としてのライフワークと妊娠・出産など女性としてのライフワークの両立の難しさ、男性が多い環境で差別的に扱われるなどの理由によるものです。今回は女性の研究者について取り上げましたが、男性の研究者にも育休が取り辛いなどの苦悩があります。女性も男性もお互いに配慮して皆が働きやすい職場にしたいものです。

これってハラスメントかな？と感じたら遠慮なく相談してください。

守秘義務の下、専門の相談員が相談にあたります。

名古屋大学ハラスメント相談センター（相談室は東山キャンパス、鶴舞キャンパスにあります）

東山キャンパス

月曜～金曜開室
(祝日を除く)
9:00～17:00
工学部7号館B棟2階

電話: 052-789-5806
FAX: 052-789-5968
Eメール: h-help@post.jimu.nagoya-u.ac.jp
(東山・鶴舞共通)

鶴舞分室

火曜のみ開室(祝日除く)
9:00～17:00
旧西病棟 452
電話 & FAX: 052-744-2827

名古屋大学 ハラスメント相談センター



Nagoya University
Harassment Consultation
Center

ホームページもあります。名大HPトップページ>教育／キャンパスライフ>ハラスメント相談センター